

特定非営利活動法人 藍住町手をつなぐ育成会
放課後等デイサービス評価票（令和3年度）

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	活動スペースが十分あり、その活動スペースに合った利用定員を定めているか	5	5		<ul style="list-style-type: none"> 活動スペースが広くなり、密になることなく一定のスペースを空けて活動できるようになった。 令和4年2月より児童棟を使用している。 活動スペースは広がったが、利用人数が多い日もある。
	②	利用人数に対し、職員の配置数は適切であるか	5	5		<ul style="list-style-type: none"> 非常勤職員や学生アルバイトなどで、利用人数が多い日は対応している。
	③	事業所のバリアフリー化や、障がい特性及び発達状況に応じた支援ツールなどの、子どもが心地よく過ごせるような配慮がなされているか	2	8		<ul style="list-style-type: none"> 男性女性兼用のトイレであるため、分けることが難しく、配慮をしていく必要がある。
業務改善	④	業務の改善を進めるため、目標を設定し、またその振り返りに職員が努めているか	7	3		<ul style="list-style-type: none"> 個別支援会議などで情報共有を行っているが、以後も十分に努めていく必要がある。
	⑤	利用者の家族等に向けたアンケート調査を実施し、その意向等を把握した上で、業務改善につなげているか	9	1		
	⑥	この自己評価結果を、事業所のホームページ等で公開しているか	5	5		
	⑦	第三者による外部評価を行い、業務改善につなげているか	2	5	3	<ul style="list-style-type: none"> 現在、外部評価を行ったことがない。
	⑧	事業所での研修会や自治体などが実施する研修へ参加し、また自らも児童発達や障がいに対する知識や理解を深め、技術習得に努めているか	5	5		<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響でウェブ研修を行っている。 新型コロナ感染症の影響のため必要な研修や情報共有の機会が不足しているかもしれない。 コロナの影響で研修に参加できていない。
適切な 支援の 提供	⑨	子どもと家族等のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	2		<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響で面談でのモニタリング等を行うことができず、書面で対応を行った。
	⑩	子どもの発達状況、心理的課題、養育環境、子どもの興味関心ごと、将来展望等について、必要な情報を収集し分析を行っているか	6	4		
	⑪	活動内容をチームで話し合い、共有しているか	9	1		<ul style="list-style-type: none"> 感染症対策をしながら会議を定期的に行い、情報共有を行っている。 長期休業日以外の平日の活動も話し合っている。
	⑫	発達段階や状況に応じて、支援の内容や方法を工夫して行っているか	7	3		<ul style="list-style-type: none"> 宿題を行った後など、個別に対応する時間が少ないこともあり、支援の内容を工夫していく必要がある。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、個別に課題を設定し、細やかな支援をしているか	6	4		<ul style="list-style-type: none"> 長期休み等は個別に課題を決め行っている。 個別対応が難しい場面もあるが、できる限り行っている。 個別には課題を設定できていない。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別の対応をしているか	9	1		<ul style="list-style-type: none"> 個々の状況に応じて対応を変えている。
	⑮	支援開始前には、職員間で必ず打ち合わせし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	10			<ul style="list-style-type: none"> 打ち合わせの時間は設定していないが、職員相互で取り決めをして、役割共有を行っている。 朝礼後に前日や当日の利用者の状況を話している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせし、その日に行われた支援の振り返りを行い、気づいた点などを共有しているか	4	6		<ul style="list-style-type: none"> 打ち合わせの時間は設定していないが、その日の出来事や気になる点などは、職員間で共有を行っている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9	1		<ul style="list-style-type: none"> 毎月、会議を開催して情報共有し、改善につなげている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しをしているか	9	1		<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響で面談を行うことはできなかったが、書面等で対応を行った。
連携	⑲	基本的な生活習慣の習得、創作活動等を通じての自己表現、地域交流による社会性の向上、活動選択し自己決定を促す等の支援を行っているか	7	3		<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響で地域交流のイベントなどが中止となり、参加をすることができなかった。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した専門的な者が参加しているか	5	5		<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響で参加をすることができていない。

関係機関や家族等との連携	⑳	学校との連携（年間計画・行事予定の交換、下校時間の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6	4		・概ねできているが、各学校で対応のバラつきがあり不十分な場面も見られる。
	㉑	医療ケアが必要な子どもに対し、その子どもの主治医等との連絡体制を整えているか	1	6	3	・医療ケアが必要な利用者はいない。 ・把握できていないところもある。
	㉒	就学前に利用していた保育所や幼稚園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	6		・新型コロナウイルスの影響であまり訪問することができなかったが、保育所等訪問事業で幼稚園等へ訪問することで、支援内容などを情報共有している。
	㉓	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報提供をしているか	1	8	1	・相談支援専門員等と情報共有することはあるが、これまで支援内容の伝達が不十分なことが多く、移行支援に関する取り組みには課題が多い。
	㉔	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	5	1	・新型コロナウイルスの影響でウェブ研修を行っている。 ・今はコロナで研修はないが、日頃はできている。
	㉕	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会を設けているか	2	7	1	・コロナが流行し始めてからはできていない。 ・新型コロナのためできていない。 ・他の通所事業所等とはスポーツなどを通して交流があるが、障がいのない子どもとの交流は少ない状態であり、交流を深めていく必要がある。
	㉖	関係機関・団体との連携を円滑なものにするための（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	3	7		
	㉗	日頃から子どもの状況を伝え合い、共通理解できているか	6	4		・連絡帳や送迎時間などを活用して、情報の共有化や共通理解を図っている。
	㉘	利用者の家族等に対して、ペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	7	2	・過去にペアレント・トレーニングを実施したことを振り返り、さらなる研修の必要性を感じる。
家族等への説明責任等	㉙	運営規程、支援の内容、利用者負担等についていけない説明を行っているか	7	3		・連絡帳にその日の出来事や活動内容を記載している。
	㉚	利用者の家族等からの悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	3		・その都度対応を行い、必要であれば面談を行っている。新型コロナウイルスの影響で面談でのモニタリングを行うことができなかったこともあり、家族からの意見要望を見逃すことなく迅速に対応していく必要がある。
	㉛	それぞれの家族が交流できる機会や行事等の開催を行っているか	3	5	2	・新型コロナウイルスの影響で行事等が中止となり、来年度も感染予防対策を行いながら開催をしていく必要がある。 ・新型コロナで中止となっており開催できなかった行事がある。
	㉜	子どもや家族等からの苦情について、対応する体制があるとともに、苦情があった場合迅速かつ適切に対応しているか	6	4		・苦情の内容等を会議で検討し、可能な限り迅速に対応するように努めている。
	㉝	子どもや家族に対し、定期的に活動概要や行事予定表の配布、必要な情報を発信しているか	10			・ホームページに活動内容を掲載したり、オンラインノートだよりを配布するなどわかりやすく実施状況を伝えるようにしている。
	㉞	事業所体制として、子どもや家族の個人情報保護に、十分な注意があるか	10			
	㉟	子どもと家族の相互コミュニケーションを図れる機会の配慮をしているか	4	6		・毎年行っている行事が中止となり、コミュニケーションを図る機会が減ってしまった。来年度は感染予防対策をしながら行っていく。
	㊱	事業所の行事に地域住民を招待するなどの、地域に開かれた事業運営を図っているか	2	6	2	・毎年行っていたお祭りやお餅つきが中止となったため、地域住民を招待することができなかった。
非常時等の対応	㊲	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定しているか	8	2		・新型コロナウイルスに関する対応マニュアルなどを作成し、職員等と共通理解を行っている。
	㊳	非常災害の発生に備え、避難経路の確認、避難訓練等を行っているか	10			・新型コロナウイルスの影響で、消防隊員と一緒に防災訓練を行うことができなかったが、例年通り事業所内で年2回防災訓練を行った。
	㊴	虐待を防止するために、職員の研修機会を保持する等、適切な対応を行っているか	5	5		・虐待防止研修などに参加し、適切な対応に努めている。
	㊵	子どもや家族等に了解を得た上で、どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	4	1	
	㊶	食物アレルギーのある子どもに対して、医師の指示書に基づく対応を行っているか	2	8		・食物アレルギーの有無の確認は利用開始時に行っている。
	㊷	事故やケガを防止するために、環境の安全性について配慮し、危険を排除する措置をとっているか	6	4		・ヒヤリハット報告書で職員間で情報共有、協議を行い、改善に取り組んでいる。